ませびと

2018年 株 会 福 株 法 人 クリスマス号 牧 人 会

961 - 8061福島県西白河郡西郷村 FA 小田倉字上上野原 158番地1 編輯

TEL 0248-25-204 FAX 0248-25-377 振替DE 02160-6-24

クリスマスを迎えるとき、当会の計画と事業活動をご支援ください。









社会福祉充実計画を具体的に実施し、地域社会に貢献する福祉 支援サービス提供を拡充しています。 理事長 山下 勝弘

クリスマスの挨拶とともに、当会の今 年度事業活動内容を報告いたします。

2018年度事業は、昨年度から実施した当会の社会福祉充実計画を具体的に実施し、今年度も昨年度の事業計画を継承して重点的に実施しています。

1、幼児から高齢者までの福祉支援サービス提供地域の拡充

今年度は、東日本大震災で被害を受けた旧あだたら育成園園舎の改修整備準備を進めると共に、地域に必要とされていたグループホーム(利用定員12名)を福島県二本松市内に新規開設し、事業を実施しました。

2、地域住民の福祉的需要に応える社会 福祉充実計画の推進 今年度は福祉的需要が増加している幼児・児童を対象にしたデイサービス事業の推進です。現在すでに必要な建物等を確保し、福島県西郷村及び白河市地域を対象に事業開始の準備を進めています。

3、キリスト教会と連帯した地域に貢献 する福祉活動の実施

この活動は、閉園するキリスト教会付属幼稚園の建物・設備を利用した幼児・児童を対象にしたデイサービス事業の実施で、2018年4月からの宮城県石巻市で「栄光まきびと園」として事業を開始しています。地域社会が必要としている福祉的需要に応えるキリスト教会と連携し連帯した事業です。

このように、当会は今後もキリスト教

会と共に地域社会に生活する人々との 連携を強化し、隣人として共生する働 きを現実化することを目標に活動して います。

クリスマスを迎えるとき、ご理解と ご支援を心からお願いいたします。

当会は 1971 年に設立され、その後 キリスト教会と地域社会、そしてみな さまの信頼と委託に応えて活動を継続 してきました。

現在、主に障がい福祉領域で15種別65事業を福島県、山形県、宮城県内の11市町村で実施しています。我が国の少子超高齢化社会の社会福祉サービスの課題に応え、当会はキリスト教会と連携して、さらに福祉の現場に献身する決意を強くしています。

2018年のクリスマス、また2019年の新しい年を迎える時、心からの感謝をこめて2018年度の当会の現状と活動内容を報告し、みなさまに一層のご理解とご支援をお願いいたします。



地域社会の期待に応えた栄光まきびと園 ■ 利用幼児が増加、定員増も視野へ ■

2018年度現在、当会が設置運営する通所型幼児・児童療育関係福祉施設・事業所は、福島県内6市町村に児童発達支援センター「まきびと」(西郷村)はじめ6施設、山形県内に児童発達支援センター「山形ひかり学園」(上山市)、宮城県に「栄光まきびと園」(石巻市)で、8福祉施設全体の直接利用可能な幼児・児童定員は全体で110名です。

しかし利用契約幼児・児童数は 200 名を超えて、さらに利用希望幼児・児童は増加しています。宮城県石巻市に本年 4 月に開設された「栄光まきびと園」も、利用希望幼児が増加し、近い将来には利用定員を増員することも視野に入れながら、幼児に仕える療育支援サービスを提供しています。

原発事故以後継続された支援 ドイツから聖歌隊を迎え国際交流

2011年3月の東日本大震災に関連した原発事故による放射線被害発生から今日まで、ドイツ・ケルン郊外に所在するマルチン・ルター教会が当会を祈りに覚え、特に聖歌隊の皆さまがコンサートを開催し、その益金で支援をしてくださいました。

2018 年 10 月 20 日にその聖歌隊の 32 名のみなさまが今回来日の機会に白河めぐみ学園・白河こひつじ学園を訪問され、児童とともに讃美歌を歌い、心をあわせた歌声を交換しあい、豊かな交流と喜びの時をすごしました。 (1面 写真参照)

新規に2グループホームを開設 女性12人が入居・地域生活を実現

当会は2018年8月から福島県二本 松市杉田地区にグループホーム杉田1 番館、同2番館を開設しました。それ ぞれ定員は女性6名で、合計12名の 人達が入居し、生活を開始しています。

場所は JR 東北本線杉田駅に近く、 利用者は地域住民の皆さまとも交流し ながら、それぞれの自立した生活を着 実に育てています。(1面 写真参照)

おぎゃー献金基金の助成で通園バスを更新

当会の運営する児童発達支援センター「山形ひかり学園」(利用児童 30 名)は山形県産婦人科医師会の推薦で「日母おぎゃー献金基金」から助成を受け、老朽化した通園用バスを更新しました。

購入した通園バス(定員29名)は 最新の安全装置を装備した車両で、8 月から運行し、関係する利用児童とそ の家族、職員はおぎゃー献金基金に深 く感謝しています。(1面 写真参照)



プログラムを選んで豊かな生活を実現

当会では、児童・成人を含め利用者が自己選択をして利用できる支援プログラムを強化しています。

具体的事例は、日曜日に白河めぐ み学園児童が近隣のキリスト教会へ 出席するプログラムです。多くの希 望する児童が参加しています。

牧人会後援会にご参加ください 「主義」と「幸長」を言う 後援会会長 定家 修身

牧人会後援会は 1971(昭和 46)年に社会福祉法人牧 人会設立とともに、正式に活動を開始し、社会福祉法 人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっ ています。

その主要な支援活動内容は、社会福祉法人牧人会に 連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に 支援することです。

2017 年度に牧人会後援会へ納入された会員の会費総額は 4,799.837 円で、これは個人会員と団体会員をあわせて 522 会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、3,500,000円を 2017 年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2017年度は特に、社会福祉法人牧人会が実施した 関係福祉施設の老朽設備改修、設備更新整備、研修 事業、新規事業調査等を中心に支援をしました。

2018年度も引き続きみなさまのご理解、ご加祷と共に、後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。(協賛広告)



適性と能力に応じた生産活動を選択し参加 評価されることから生まれる喜びと自信と誇り

当会が運営する通所型就労支援及び 生活介護4事業所(利用者数109名) では、利用者の年齢・能力・適性に応 じた生産活動や就労前職業訓練支援 サービスを、積極的に提供しています。

あだち共労育成園でも、これまでの 木工製品製作に加えて、縫製作業を導 入し製品を生産しています。「そば枕」 (1,000円)「エプロン」(1,000円)な どの製品が手頃な価額と質の高い縫製 技術が評価され、製品の愛用者も増加 しています。地域の「道の駅」「物産館」 での販売のほか、クリスマスの贈物に も多く利用されて、喜ばれています。

写真上 縫製作業。男女を問わず、適性と能力 に応じて、この作業に参加しています。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工授産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設の作業・ 生産活動のユニークな製品 に、木工製品があります。木 工製品は、キリスト教会関係 家具、用品、積木などの木製 玩具が中心で、高品質な製品

として喜ばれ好評です。

当会の授産製品詳細は、当会のインターネットのホーム・ページ(http://www.makibito.com)をご覧ください。ご注文は、各授産施設へ電話か FAX でお願いいたします。また、特注家具の製作注文に応じています。

具体的には本部 事務局・各授産施 設にご相談、お問 い合わせください。 これからも、みな

さまの一層のご協力とご支援をお願いい たします。

写真 左上 特製高級十字架 配布価額 10,000円。 右上 特製幼児テーブル・椅子 セットで配布価額 19,600円。その他の製品と価額については、当会のホーム・ページの製品案内をご参照ください。

白河めぐみ学園 Tel 02<u>48-25-2046</u> 白河こひつじ学園 Tel 0248-25-2055 あだたら育成園 Tel 0243-48-3111 須賀川共労育成園 Tel 0248-76-4155 あだち共労育成園 Tel 0243-48-3113 はなわ育成園 Tel 0247-43-3891 山形ひかり学園 Tel 023-672-2377 寒河江共労育成園 Tel 0237-86-7625

山形育成園 すぎのこ園 児童発達支援センターまきびと Tel 023-673-2575 Tel 0247-43-4391 Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター 発達支援センターあだたら Tel 0248-53-3618 Tel 0243-22-2800 相談支援センターこひつじ Tel 0248-25-2055

まきびとの家 Tel 0248-25-2046